

こんにちは

NO. 24

日本の学童ほいくニュース

です

2007年3月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

今月号の一押し

その1

特集・子どもが“まんなか”学校と学童保育 「おんぶ」してほしい子どもたち

埼玉県公立小学校教諭 渡辺 恵津子

そんなにな...と思うほど、子どもたちは「おんぶ」してほしかったんだって、渡辺恵津子先生のお話に考えさせられました。4年生の男の子たちが二人とも「ごほうびにおんぶを...」って。また、「こすずめのぼうけん」の読みかきのあとおんぶの話題になって、その日の宿題が「おうちの人におんぶしてもらおう」になったってということにも...。恵津子先生は最後に「子どもたちは家庭でも学校でも見せ無しの裸の姿を学童保育ではぶつけていきます。親が抱えている大変さも子どもの大変さも、一番よく知っているのは学校の教師ではなく学童保育の指導員さんです。」と書いてくださいました。はじめの「なつやすみ わたしはまいにちがくどうなんです。このきもちわかりますか」というお手紙を書いた真美さんの気持ちとあわせ、恵津子先生のお言葉に身が引きしまる思いがしました。

その2

講座・障害児の発達保障と生活づくり(最終回) 発達保障の時代を拓く

最終回は重厚だった。世の中に目を向けて、障害者が「受ける人」ではなく「主体者」であることを、みんなでもっと確かめあわなければいけないと感じました。今、本当にそう言ったと言えるのだろうか。障害の有無によらず、健やかにはぐくまれることは、子どもの権利であり、人間として等しく豊かに生きていくことは、お金で買えるものではないのです。保育も福祉も、もちろん学童保育も「サービス」なんかじゃない!!「権利を要求する原点は、その権利を制限しようとする動きとの『せめぎあい』のなかにあり、それをのりこえていくことなくして発達保障の時代は訪れません。」温かな白石先生の中にある厳しい決意を感じました。

3月号の特集

子どもが“まんなか”学校と学童保育

「おんぶ」してほしい子どもたち

埼玉県公立小学校教諭 渡辺 恵津子

読者からの投稿

「今、ここのできることは、を問ながら

さいたま市見沼小学童保育 片山 恵子

緊急企画

学童保育と「放課後子どもプラン」

「放課後子どもプラン」とはなにか

国の考え・方針・予算

全国学童保育連絡協議会事務局

「放課後子どもプラン」は、学童保育を拡充するものに

全国学童保育連絡協議会事務局長 木田 保男

交流研修会の実施

岩手県学童保育連絡協議会・事務局 伊吹山 恵理子

県の「運営基準」が歯止め

石川県学童保育連絡協議会・事務局 河内 久美

学習を積み上げながら

群馬県学童保育連絡協議会・事務局 土屋 年治

児童館も子どもの居場所

京都市七条第三学童保育所指導員 五藤 久雄

情報を活用し、話し合いを重ねて

宮古島市学童保育連絡協議会指導員 上地 常美

今月の都連協人

第42回全国学童保育研究集会に向けて！
東京都学童保育連絡協議会事務局次長 菅井 憲子

今月号の一押しその2

その1

緊急企画

学童保育と「放課後子どもプラン」

今話題の「放課後子どもプラン」を、こんなに正確にわかりやすく教えてくれる本は、日本の学童乱れく誌以外にありえない！！全児童対策？放課後子ども教室？学童保育はどうなるの？モヤモヤとしていたものが一気にスッキリ！ともすれば、一体化を狙っているとみえるこの「プラン」が出てきてくれたおかげで、ますます学童保育の必要性があちこちで明確に語られるようになったと思うのは私だけ？「放課後子どもプランって何？」と思っている方、ぜひぜひ3月号を読んでください！！そして、まわりのみなさんに教えてあげてね！！

その2

子どもたちのまなざし（最終回）

どの子もかしこくなれる

大阪市立「噴屋」小学校教諭 土佐 いく子

土佐先生の最終回..ああやっぱり泣けた！！どの子も見捨てない、どの親も否定しない..土佐先生は、親も子もあったか、愛で包んでいってしまうのだ。そして、そこからまた愛する心が生まれる、つながっていく...ステキだなあ。「できない子を切り捨ていけ」という動きに、土佐先生の強い怒りが伝わってきます。先生、私も一緒にがんばるよ！！

その3

岸本さんのカメラでこんにちは 沖縄県南風原町 こがね森学童クラブ

一枚一枚の写真の中にいる子どもたち、何かみんなイイ感じ！OBのお兄さん(?)のマウンテンバイクに群がっている子、裸足、泥だらけで追っかけっこしてる子、グアバの木の枝に板を渡して、その上で宿題してる子、縁側で指導員さんとお話してる子、その話を何気に聞いてそうな犬、なんか、ちょっと懐かしい匂いがしてきました。でも、子どもたちがありのままにいられるこのお家、来年からは借りられなくなってしまうかも...とのこと。どんなに老朽化してても、狭くても、子どもたちにとっては楽しい“わか家”なんだよね。

次号予告4月号

特集・ただいま！学童保育

- ・学童保育ってこんなところだよ
- ・研究者からのメッセージ

柏女 霊峰/汐見 稔幸/二宮 厚美

ずいそう

多和田 悟

講座・子どもとのかかわりを考える(仮)

横場 園子

知っておきたい子どもの病気(仮)

森 蘭子

身近に発見！花と虫(仮)

中山 康夫

カメラでこんにちは/父母会/仕事・職場のいま/
わたしは指導員/クイズ/まんが/子どものひろば/
読者のひろば/ほか